

大学の世界展開力強化事業 構想概要 広島大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ)

国際大学間コンソーシアムINUを活用した、平和・環境分野における協働教育

【構想の概要】

国際的な大学間コンソーシアムであるINUを利用して、双方向の協働教育の枠組み(ダブルディグリー・プログラム、修士サマースクール、学生セミナー)を、平和分野、環境分野および融合分野で実施する。これにより、大学の教育、研究、社会連携分野での国際力の強化、Internationalisation at Homeを図る。

■ プログラムの目的・養成する人材像

○ 地球市民の育成

INU参加大学および広島大学が共有する目標である、地球市民としての自覚を有し、地球社会の一員として国や地域の持続的発展に資する人材を育成する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

○ 大学間コンソーシアムINUを利用した大学間交流

欧州、米国、アジア、オセアニアにまたがる国際的な大学間コンソーシアムであるINUの枠組みを利用して、本学の基本理念と密接な関連性を有する「平和」の分野、また、地球全体の問題と関連する「環境」分野とこれらの融合分野で、協働教育を行う。

○ 学生の語学能力、目的、履修期間などに応じた大学間交流

実施形態としては、学生の属性に応じて開発された派遣・受入を伴う以下のような複数のプログラムを組み合わせで行う。

- ・本学学生を海外派遣することにより国際的能力を取得した人材を育成
- ・海外大学学生の広島大学への留学による人材育成
- ・Internationalization at Home
- ・教員・職員の相互派遣による国際化、人的・知的ネットワークの構築

○ 大学のトップ・マネージメントによる大学間交流

各種プログラム実施のため、各大学のトップマネージメントのリーダーシップのもと、「理事会(年2回また電話会議)(学長・副学長)」、「総会(年2回)」、「ステアリングコミティー(3ヶ月に1回)」を開催することにより、緊密なPDCA体制を確立している。国際化は、「パートナーシップ」と「オーナーシップ」をどう調和させるかが鍵を握っているが、トップマネージメントが主導することにより、これらを融合させつつ発展させることを可能としている。

〈INU参加大学〉



〈INU学生セミナー〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ Internationalization at Home

プログラム実施を通じて「学生」、「教員」、「職員」、「マネージメント」が共に「国際化」を実現するため、学生を派遣した受け入れるとともに、留学を全く経験しない広島大学学生に対して新たな知見、経験を与えるInternationalization at Homeを進める。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 留学支援体制の整備

留学支援のための相談窓口の開設、アドバイザーの配備などとともに、留学生が求める学習機会の整備(教材開発等)、また企業等における留学生のインターンシップ受入れの促進のための枠組みづくりを行う。

○ 学習支援体制の整備

長期間留学する学生については、双方の大学における学習過程や学習成果を双方の大学の指導教員により確認することのできるeポートフォリオも活用することにより、継続的に学習支援を行う。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

ダブルディグリー・プログラム、欧米における短期集中講義を継続して行うとともに、本構想により学生支援を行い、日本人学生を、中・長期のプログラムを中心に海外に派遣する。

○ 外国人留学生の受入れ

毎年8月に開催する学生セミナー、サマースクールに学生を受け入れるとともに、新たなサマースクール、ダブルディグリー・プログラムを実施する。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	2人	23人	25人	25人	25人
学生の受入	0人	56人	58人	58人	58人